

月刊	平成25年	145
	11	月号
発行	「お〜い」編集委員会	
	品川区西大井 4-1-8	
	大井第三地域センター内 ☎ 3773-2000	

祝!! 富士見台中学校 開校60周年

9月21日(土)、開校60周年記念式典を無事に挙行することができました。昭和29年4月の開校以来ご支援とご協力をいただきました、品川区、地域・保護者の皆様、卒業生の皆様に感謝申し上げます。式典には、品川区教育委員会教育長、中島豊様をはじめ大勢のご来賓の皆様のご臨席を賜りました。



実行委員の皆さん

ご来賓の皆様と197名の生徒と共に開校60周年を迎えられたことを大変嬉しく思います。当日の生徒代表お祝いの言葉に「私たちの先輩方が築き上げた良き伝統を受け継ぐことができることを誇りに思います。未来の富士見台中が今以上に素晴らしくなるように、学校生活、地域活動がんばっていきます。」という逞しいメッセージがありました。現在、富士見台中はとても落ち着いた学習環境にあり、生徒は学習にも部活動にも積極的に取り組んでいます。また、地域祭りや防災訓練等の地域活動を通して、地域の一員としての広い視野を養い、社会に貢献する自覚と行動を身に付けています。この開校60周年を節目に、生徒・教職員共々心を新たに努力してまいります。今後共、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

(富士見台中学校副校長 金児京子 記)



生徒全員合唱



生徒代表お祝いの言葉

中島教育長挨拶

町会めぐり
シリーズ企画

わたしが町会長です！ 西大井五丁目伊藤町会

タイトルがすばらしいので、何分にも非才の私、書き出しが決まらない。思案の末、平成6年5月24日、65歳の誕生日に某会社から送られてきた昭和4年5月24日の「東京日日新聞」の縮小判の記事をご紹介します。

今は知っている人も少ないと思いますが、西大井一丁目の区立西大井保育園あたりにあった、産育会という病院で私は生まれました。幼いころ両親からおまえが生まれる前は嵐だったという話を聞きましたが、「豪雨帝都を洗う、市内外の浸水2万千餘戸。日比谷公園に豪雨中の捨て児」当時不況の中の悲しいできごとの記事が記載されています。広告では、「クライスラー社の乗用車が2,950円～4,125円。庶民の足の自転車は25円～33円、子供車は18円」などと書かれています。当時「こんな不景気じゃしょうがない、何処か戦争でも起きなければ」そんな言葉を耳にしても何の疑問も感じないで、「誰よりもはやくお国のために、兵役に」多くの若者はそれを希望して日をおくっていたのです。同年の従兄弟ははやく幼年学校に入ったのに、私は小学4年から1年も、大森白木屋うらの眼科に通いましたが視力がおちて、近眼で何処もだめ。15歳の私は悶々とした日を過ごしました。昭和19年5月に国鉄大井工機に入り昭和22年2月1日に計画された国鉄労組など官公労が中心で600万組織された、ゼネストなど経験しました。



昭和25年退職して昭和30年ころから町内のお手伝いをするようになりました。いろいろしたけれど、防疫衛生部これは大変だった。日曜日朝はやくミゼットという小さな三輪車で町内の薬まき。若かった時だから土曜日はたいがい深酒してたけど、それでも時間に遅れた事がない。あの頃の先輩は怖いけれどえらかった。今はみんな楽しい思い出です。

こんな私をご支援くださる役員の方々をはじめ多くの皆さんに感謝の気持ちとご多幸を祈念して筆をおきます。(西大井五丁目伊藤町会会長 山岸弘一 記)

大井第二・第三地区合同防災訓練

9月22日(日)西大井広場にて、「大井第二・第三地区合同総合防災訓練」が行われました。この訓練は緊急地震速報により、東京都に震度5強の地震が5秒後に発生するという想定で行いました。大井第二・第三地区の町会、管内小中学校、大井消防署、大井消防団、大井警察署、医師会、薬剤師会、柔道接骨師会、国際救急法研究会、区職員、児童センター、東京消防庁災害時支援ボランティアの方々など約1,600人の方々が参加しました。

内容は、初期消火訓練及び地震体験車訓練 スタンドパイプとミニポンプを使用した放水訓練 救助救出訓練 応急手当訓練を中心に行われました。そして訓練の最後は、ミニポンプ隊・区民消火隊などによる一斉放水です。



富士見台中

今年、伊藤学園と富士見台中学校から、ミニポンプ隊がそれぞれ2隊参加しました。これまでの訓練の成果を発揮し、とても頼もしい姿が印象的でした。

いざという時のために、ご家庭でも災害時の備えを再確認してみたいかがでしょうか。(事務局 記)



伊藤学園

